



一般質問

第3回定例会の主な内容は次のとおりです。
質問の詳細は、熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

※新型コロナウイルス感染症への取り組みとして、壇上にアクリル板を設置するとともに、マスク着用の上、質問を行いました。

市民連合



島津 哲也議員

質問1

熊本西環状道路工事と地盤沈下の関連調査を
工事に伴う地下水噴出と谷尾崎・池上町一部の地盤沈下との因果関係について、調査の内容と今後の対応は。

答弁

地下水調査、地盤調査等を実施し、専門家会議で意見をいただきながら、状況を地元へ説明しつつ、年度内に調査結果を取りまとめる。

質問2

行動範囲が拡大するイノシシへの対策は

以前から西区の山手方面等でイノシシが出没しており、最近では住宅街まで行動範囲が拡大しているが対応策は。

答弁

鳥獣を住宅地等に寄せ付けない取り組みが不可欠。自治会と連携して市民との協働による地域全体での鳥獣対策を積極的に推進していく。



公明党



藤永 弘議員

質問1

小中学校の入学式で校長が「思いやり」宣言を
私が提言した入学式の校長挨拶「いじめは絶対許さない」宣言に「思いやりや親切な言葉と行動」を加え学校目標に。

答弁

思いやりや親切な言動の大切さ等についても、校長の言葉として積極的に発信するよう、改めて学校に周知する。



質問2

段ボールベッドが必要な避難所への配慮を
体調不良者には寝起きや衛生面でベッドが必要。避難所で部屋を分ける配慮とともに段ボールベッドの配備を。

答弁

公設公民館等の基本避難所については、体調不良者が保健室として使用する場所への段ボールベッドの配備について至急対応する。

熊本自民



光永 邦保議員

質問1

小中学校における夏休み期間の設定について
夏休みの期間を30日に設定した考え方と、授業時間が足りない学校へはどのような処置がとられたのか。

答弁

休校中の児童生徒や教員の努力を正当に評価する観点から判断した。行事の精選等により、全校で今年度の授業時数を確保できる。



質問2

新型コロナ対策での専決処分の根拠と考え方

新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策第7弾を、市長専決処分とした根拠と考え方は。

答弁

リスクレベル等を考慮し、一刻も早く対策を講じ、市民の安心安全を確保する必要があったため、専決処分により対応した。

自民党



日隈 忍議員

質問1

各種検診における感染症対策と新たな手法を
コロナ感染症対策を十分に行い、市民の皆さんが安心して受診できるような検診方法を検討すべきではないか。

答弁

万全な感染症対策に取り組み、加えて対面機会の少ない大腸がん郵送検診の拡大検討や密にならない検診方法も研究していく。



質問2

超高齢化社会で健康寿命を延ばす取り組みを
健康寿命を延ばすことを目的に、地域の集会所等を活用したフレイル（※1）予防事業を積極的に広げてはどうか。

答弁

これまでも地域の集会所等を高齢者の通いの場として活用しているが、今後も民間事業者と連携した取り組みをさらに推進していく。

市民連合



山内 勝志議員

質問1

新型コロナの治療行う医療機関へ財政支援を
感染症指定医療機関等の収益が悪化。国へ財政支援を強く要請し、市のコロナ関連予算からの支援も考慮すべき。

答弁

これまでも国へ財政支援を繰り返し要望してきたが、国の具体的な施策を注視しながら、国に対し手厚い支援を求めていく。



質問2

介護・福祉現場におけるコロナ対策について
感染や濃厚接触で介護事業所等が休業した場合に別の事業所が応援する相互支援システムを早急に構築すべき。

答弁

高齢者施設等への応援派遣については、県が仕組みを構築し、現在、人材バンクへの登録の依頼を行っているところである。

公明党



吉田 健一議員

質問1

「統合型ハザードマップ（※2）」をLINEで発信
平時や災害発生時にLINEを活用して、市民へ統合型ハザードマップを周知・発信することは可能か。

答弁

LINEを活用した情報発信は、これまでも防災情報について積極的に行っており、統合型ハザードマップについても取り組んでいく。

質問2

「暗所視支援眼鏡」の購入支援について
網膜色素変性症や緑内障など、夜盲や視野狭窄に有効な約40万円する眼鏡の購入に給付支援はできないか。

答弁

眼科医療関係者の意見や、他都市の状況等、検討を行った結果、日常生活用具の給付対象に追加する方向で必要な準備を進める。



熊本自民



山本 浩之議員

質問1

地域商店街の活性化に若い人材の活用を
地域商店街の活性化を図るため、学生の起業体験や若い人材の創業の場として、商店街を活用できないか。

答弁

後継者不足等の課題解決にも繋がることから、今後、若者が商店街活動に参画できる手法や取り組みについて研究していく。



質問2

競輪場の再整備に関係者意見は反映されるか

熊本競輪場の整備について、競輪選手会等の関係者の意見はどのように反映されるのか。

答弁

選手会等の関係者の意見を伺い、市民の皆様に対しても検討内容をつまびらかにし、競輪事業の今後の在り方の検討を行っていく。

自民党



齊藤 博議員

質問1

長期間工事未着手の都市計画道路の見直し
昭和21年以来、工事未着手の区間が存在。地域の意向を反映させ、継続道路は整備時期を明確にして欲しい。

答弁

地域の意向を十分に踏まえるとともに、継続道路については、適時適切に計画を更新し、できる限り早く整備時期をお示ししたい。

質問2

競輪事業の在り方、再開への速やかな検討を
地域防災拠点や地域コミュニティ拠点にもなる、競輪場。再開に向けた議論を速やかに進めていただきたい。

答弁

できるだけ早期に検討会を立ち上げ、資料等をお示しすることで収支推計の手法を含め、議論していただきたいと考えている。



おしえて
ひごまる

フレイル（※1）

統合型ハザードマップ（※2）

…健康な状態から要介護状態に移行する中間の段階で、身体的機能や認知機能の低下が見られる状態。単に身体的問題が原因となるだけでなく、精神的、社会的問題など様々な要因が影響し合って引き起こされる。
…洪水や土砂災害等、災害の種類ごとにあったハザードマップを集約し、地域のリスクを総合的に確認できるようにしたもの。